

②【2か年度(1年目)】温泉通り歩行者空間創出社会実験(新潟県湯沢町)

1. 実験概要

越後湯沢駅西口の温泉街である「温泉通り」について、高齢者をはじめとする住民、観光客、来訪者等の歩行者と自転車を中心とした歩行空間を創出し、テラスやベンチの設置による賑わい創出と確保を図る。併せて自転車との混在空間化を実現し、自転車配送やシェアサイクルによる回遊拡大を進める。

2. 今年度の調査内容、調査結果

- (1) 地元ワークショップの開催及びニュースレターの発行
 - ・地元調整及び地元との課題認識を明確化、共有化するワークショップを実施し、その後ニュースレターを発行して区域外の住民へも周知
- (2) 歩行支援となるモビリティの実証に合わせたアンケート
 - ・当該区間でのグリーンスローモビリティ導入に向けて、「トゥクトゥク」の導入実験被験者に対しアンケートを実施
- (3) 人流解析ツールの試行
 - ・沿道に観測機器を設置するための現地踏査を実施
 - ・画像解析ツールについて検証を実施
 - ・交通量観測のため、既存カメラの画像解析を試行しつつ、専用の観測機器による計測のためのデータ整理等を実施
- (4) シェアサイクルの実用性検証
 - ・町民及び観光客の移動手段として試行的に導入されたシェアサイクルの利用状況を調査し、実証実験での導入に向けたシェアサイクルの実用性を検証



ワークショップの様子と
ニュースレター



歩行支援となるモビリティ
の実証に合わせ、
アンケートを実施

②【2か年度(1年目)】湯沢町温泉通り歩行者空間創出社会実験(新潟県湯沢町)

3. 意見と対応

有識者等からの意見	意見への対応
高齢者の住民数や、高齢者の動線等のデータを把握して、それらのデータを活用して対策を考えることが重要であるため、今回の実験でもデータを収集・活用すること。	携帯電話の位置情報を用いた人流データ解析やアンケート調査を実施予定
データを活用し、地域住民への説明等に活用できるとよい。	各種データを用いて、住民との調整を行う。
歩行者空間を整備する際は、単に通行止めをするだけでなく、魅力的な空間となるような取組を町をあげて実施していただきたい。	イベント等を企画することで賑わい創出を促進する。
法律的な整理を行い、知見を得ることで、社会実装に向けて実験を評価してもらえような整理としてほしい。	法律的な整理を更に行い、社会実装に向けた実証実験の実施に努める。

4. 次年度の社会実験メニューとその内容、スケジュール

実験メニュー	実験内容
歩行者・自転車専用通行規制	高齢者をはじめとした歩行者空間の創出実験を行うと共に、シェアサイクルや自転車を活用した輸送などのデモンストレーション、実証などを図り歩行者と自転車の混在した空間を創出する。
歩道拡幅による歩車共存空間形成	

【スケジュール】

- ・ 令和8年3月：ワークショップで実験内容の詳細を調整
実証実験実施に向けて協議会を開催する
- ・ 令和8年 4月～ 7月 ： 現地実証実験に向けた準備、広報
- ・ 令和8年 8月～ 9月 ： 現地実証実験
- ・ 令和8年10月～令和9年2月 ： 実験結果収集、効果検証、課題整理

5. 評価

- ・ 順調に実験が進んでいる。
- ・ 次年度の実施内容が具体化されているため、継続して実験を行うことが妥当と考える。